


整理番号	HT30133	分野	医歯薬学・生活	キーワード	和漢薬
------	---------	----	---------	-------	-----

研究機関名	富山大学				
プログラム名	「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ！」—生活に溶け込んでいる薬用植物—				
先生(代表者)	小松かつ子(こまつかつこ) 和漢医薬学総合研究所 附属民族薬物研究センター長(教授)				
自己紹介	地球環境の変化により生薬の基になる天然薬用資源が減少しています。漢方薬に配合される生薬が永続的に利用できるようにアジア各国で薬用植物の調査を行い、また栽培も手がけ、それらの品質について研究しています。漢方薬の原料生薬は主に中国から輸入されていますが、私たちの身近にもこれらと同類のものが生育しています。生活に溶け込み、あまり認識されていない生薬について紹介します。				
開催日時・募集対象	平成 30 年 8 月 4 日(土)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	
集合場所・時間	富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館		(集合時間)	9:30	
開催会場	富山大学杉谷キャンパス 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 住所: 〒930-0194 富山市杉谷 2630 アクセスマップ: http://www.u-toyama.ac.jp/access/sugitani/index.html				
内 容					
<p>民族薬物資料館内の展示生薬に直接触れたり、香りを嗅いだり、味わったりしながら、和漢薬を身近に感じてもらい、薬として利用される植物が本来持っている力について理解するとともに、自然界から人類がどのように薬を見出したのかを考えるきっかけをつくることを主な目的とします。</p> <p>講義では、私たちの生活圏にある身近な植物、食品、染料などが、生薬として漢方薬に配合されたり、また民間薬となっていることを紹介し、それらの効能・効果について説明します。</p> <p>実習では、まず紅花を使った染色を行います。紅花の薬効とともに色材としての歴史、また染色過程中の化学反応も共に学びましょう。</p> <p>次に、民族薬物資料館の展示室で、展示生薬を手に取りながら、原産地や用途等について学習しましょう。香りを嗅いだり、時には味わったりしながら、体験することにより和漢薬を身近に感じてもらいます。</p> <p>また、漢方薬の葛根湯に配合される7種類の生薬について選別、鑑定を行ない、どのような生薬が使用されているのか見てみましょう。さらに、生薬の基になっている薬用植物についても観察します。</p> <p>最後の実習では、数種類の薬草・ハーブを用いた薬草ティーを準備していますので、参加者は先ずそれらを味わった後、思い思いにブレンドして、味や香りの変化を体験してください。どの組合せが好ましいのかを、参加者どうしで意見交換します。</p> <p>以上の講義と実習をとおして、身近な植物が生薬になった経緯を学習し、薬としての科学性をともに考えましょう。</p>					



「民族薬物資料館 展示室見学」



「桂枝湯と葛根湯の選別・鑑別」



「薬草ブレンドティー作り」

スケジュール	持ち物
9:30~10:00 受付(民族薬物資料館1F)	・筆記用具 (昼食はこちらで用意します。)アレルギーのある方はご自分で昼食の用意をお願いいたします。
10:00~10:30 開講式(あいさつ、オリエンテーション、自己紹介、 科研費の説明)	
10:30~11:00 ①講義「身近な薬用植物と和漢薬」	特記事項 薬膳弁当や薬草ブレンドティーの原材料に、アレルギーを引き起こす食品が含まれる場合があります。受講者には事前にアレルギー調査用紙をお送りしますので、必ず返送してください。染色実習があるので、汚れても良い服装で来て下さい。
11:00~11:15 移動・休憩	
11:15~12:00 ②実習「薬用・染色用に用いられる和漢薬」	
12:00~13:00 昼食休憩(薬膳弁当、生薬入り茶)	
13:00~13:45 ③実習「民族薬物資料館 展示室見学・和漢薬体験」	
13:45~14:00 移動・休憩	
14:00~14:45 ④実習「和漢薬の鑑定に挑戦」	
14:45~15:00 移動・休憩	
15:00~15:45 ⑤実習「薬草ブレンドティー作り」	
15:45~16:00 休憩	
16:00~16:30 学習の振り返り&発表 修了式(アンケート記入、未来博士号授与、あいさつ)	
16:30 終了・解散	

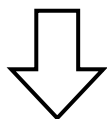
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	富山大学医薬系事務部 研究協力課 女川 佑可子
住所：	〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630
TEL 番号：	076-434-7684
FAX 番号：	076-434-4656
E-mail：	kenkyo@adm.u-toyama.ac.jp
申込締切日：	平成30年7月20日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
小松かつ子	2012 - 2014	基盤研究 (B)(海外学術調査)	24406005	薬用資源植物の多様性を利用した伝統薬の永続的利用プログラムの構築



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。